



ぼくがうまれたこの

工	中六工	中六工	尺中四	合	中	中尺工	合
---	-----	-----	-----	---	---	-----	---

しまのそらを	ぼくはどれくらい	しってるんだろう
--------	----------	----------

七	五七工	四	七	五	工	中	上中工	中上	合
---	-----	---	---	---	---	---	-----	----	---

かがやくほしも	ながれる	くも	も	なま	えをきかれて	も
---------	------	----	---	----	--------	---

中	中尺工	合	七	五七工	四	七	五	工	中
---	-----	---	---	-----	---	---	---	---	---

上中上	四	合	上	上	中	合	五	工	工	合
-----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

わからない	でも	だれより	だれよりも	しっている	かな
-------	----	------	-------	-------	----

上	上	中	中	尺	尺	尺	五	工	合	工	合
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

しいときもうれしいときも	なんども	みあげていた	このそらを	イヤササ	き
--------------	------	--------	-------	------	---

工	六	工	六	工	六	七	中	工	六	工	六
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

ようかしよにかいてあること	だけじゃ	わからない	いたい	せつな	ものが	きつと
---------------	------	-------	-----	-----	-----	-----

五	七	五	七	工	五	工	上	合	上	合	四	合
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

ここにあるはずさ	それが	しまん	ちゆぬた	から
----------	-----	-----	------	----

四	合	工	中六工	中六工	尺中四	合	中	中	中尺
---	---	---	-----	-----	-----	---	---	---	----

工	合	七	五七工	四	七	五	工	中	上中工	中
---	---	---	-----	---	---	---	---	---	-----	---

上	合	中	中尺工	合	七	五七工	四	七	五
---	---	---	-----	---	---	-----	---	---	---

た	このしまのうみ	を	ぼくは	どれくらい	しってるんだろ
---	---------	---	-----	-------	---------

工	中	上中上	四	合	上	上	中	合	五	工
---	---	-----	---	---	---	---	---	---	---	---

う	よ	ごれて	く	サンゴ	も	へ	って	い	く	さ	かな	も	ど	う	し	たら
---	---	-----	---	-----	---	---	----	---	---	---	----	---	---	---	---	----

工	合	上	上	中	中	尺	尺	尺	尺	五	工	合
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

島人ぬ宝

本調子

2/3

いいのか わからない

でも

だれより

だれよりもしつて

工合 工六 工六 工六 工七 中工 六

いる

すなにまみれて波にゆられて少しずつ変つてゆくこのうみを

工六 工五 七五七 工五 工上 合上 合

テレビで はうつせないラジオで もながせないたいせつな

四合 四合 工中 六工 中六工 尺中 四合

ものがきつとここにあるはずさ

それがしまん ちゆぬた

か

中 中尺 工合 七 五七 工四 七 五 工中

ら

上中 工中 上合 中中 尺工 合七 五七 工四

ぼくがうまれた

このしまのうたを

ぼくはどれくらい

七五 工中 上中 上四 合上 上中 合

しつてるんだらう

トウバーラーマも

デンサーぶしも

五 工 工合 上上 中中 尺尺 尺尺 五

工合 工合 工六 工六 工六 七 中

ことばの

いみさえ わからない

でも だれより

だれ

工六 工六 五七五七 工五 工上 合

よりもしつている

祝いの夜もまつりの朝もどこからかきこえてくるこの歌

上合 四合 四合 工中 六工 中六工 尺中

を イヤササ いつのひ かこのしまをはなれてくその ひまで

四合 工中 六工 中六工 尺中 四合

一、僕が生まれたこの島の空を
僕はどれくらい知ってるんだろう
輝く星も流れる雲も
名前を聞かれてもわからない
でも誰より誰よりも知っている
悲しい時も嬉しい時も
何度も見上げていたこの空を
教科書に書いてある事だけじゃわか
らない
大切な物がきつとここにあるはずさ
それが島人ぬ宝

二、僕が生まれたこの島の海を
僕はどれくらい知ってるんだろう
汚れてくサンゴも減って行く魚も
どうしたらいいのかわからない
でも誰より誰よりも知っている
砂にまみれて波にゆられて
少しづつ変わってゆくこの海を
テレビでは映せないラジオでも流せ
ない
大切な物がきつとここにあるはずさ
それが島人ぬ宝

三、僕が生まれたこの島の唄を
僕はどれくらい知ってるんだろう
トウバラーマもデンサー節も
言葉の意味さえわからない
でも誰より誰よりも知っている
祝いの夜も祭りの朝も
何処からか聞こえてくるこの唄を
いつの日かこの島を離れてくその日
まで
大切な物をもっと深く知っていたい
それが島人ぬ宝
それが島人ぬ宝
それが島人ぬ宝